

2026 年度日本語教育学会春季大会

—2026 年 5 月 23 日・24 日 オンライン開催—

発表募集

新規発表申込締切：

2025 年 12 月 25 日（木）

日本時間 23:59

👉 **今大会では以下のテーマに関連する発表を募集します。**

※テーマ関連以外の発表も通常どおり募集しております。

日本語教育学会においては、「日本語教育学の「学問的分野」としての体系的枠組みの構築」をめざし「日本語教育学の構造化ワーキンググループ報告書」が 2023 年 3 月に発表されました。その中では、日本語教育と日本語教育学の相互活性的な様態が、「ことばと共生」を中心とした俯瞰図として示されています。一方で、AI 技術の急速な発達、各地で繰り返される紛争、国際政治や社会の不安定化など、世界は大きく姿を変えています。こうした変化は、日本語教育を取り巻く制度や政策、教育現場のあり方にも直結し、教育者・学習者双方に新たな課題と可能性をもたらしています。新たな時代の日本語教育の研究はどのような知を生成し、誰に向けて、何を支えるものとなり得るのでしょうか。

2026 年度春季大会では、急速に変化する社会と「ことばと共生」を念頭に、「**変化の時代をとらえる日本語教育の知：「共に生きる社会」とことばをつなぐために**」を大会テーマとし、発表（パネルセッション、口頭発表、ポスター発表）を募集いたします。「共に生きる社会」を見据えながら、ことばの使い方、ことばの教育、それにかかわるさまざまな人々をつなぎ、研究と実践、研究と社会の接点を問い直す議論ができればと考えます。例として、以下のような研究を挙げておきます。

- ・多様な学習者や教育者の生や経験に根ざし、「共に生きる社会」を再考できるミクロ・マクロな研究
- ・共生を支えることばのあり方や、さまざまな現場での教育的支援を展望できる研究
- ・理論・実証・実践の多様な知のかたちを交差させた研究
- ・AI に代表される新技術の活用と教育者の専門性の再定義に関わる研究

研究者・教育者・学習者をはじめとする多様な立場の方々と知を交わし、「共に生きる社会」とことばをつなぐ新たな可能性を切り拓く場としたいと考えています。みなさまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

👉 **発表応募の方法・スケジュールについて**

筆頭発表者のマイページ上からご応募ください。応募に先立ち、2025年度の会費の納入が完了していることをご確認のうえ、マイページ上で「新規発表申込」を行ってください。2026年度春季大会の発表申込の締切は **2025年12月25日（木）23:59（日本時間）** です。詳細は、「発表要領」



(https://www.nkg.or.jp/event/_assets/happyoyoryo-online-.pdf) をご覧ください。

みなさまのご応募をお待ちしております！